

## 咽喉頭癌経口的切除に関する研究

### 1. 研究の対象

2001年1月1日から2018年12月31日までの期間中に、当院で喉頭癌、および中咽頭癌、下咽頭癌の患者さんで、経口的切除術を受けた方

### 2. 研究目的・方法

咽頭および喉頭に悪性腫瘍が発生すると嚥下や音声といったQOL(クオリティーオブライフ、生活の質)に影響するため、がんを治すための根治性とQOLとのバランスを保った治療が必要です。当院では機能温存と低侵襲性に優れた経口的切除術を行っておりますが、その長期的な生命予後や機能的な予後に関してはまだこれから解析していく必要があります。そこで、当院における咽頭癌、喉頭癌に対する経口的切除後の治療成績や喉頭機能に関する情報を収集し、今後の治療方針の策定に資するために研究を行います。

この研究で利用させていただく情報は、防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座において匿名化された上で以後の解析が行われます。匿名化の対応表はパスワードロックをしたうえで解析とは別のコンピュータに厳重に保管されます。治療成績については5年生存率、喉頭温存率、喉頭機能温存率を解析し、合併症発生率、嚥下機能、音声機能についてもどれだけ良好に温存されたかが解析されます。予後や嚥下機能、音声機能不良例がある場合には各々が不良となる因子について統計学的解析を行い、今後の治療に役立てます。解析された結果については学会報告や学術雑誌などで公に発表されることもあります。

防衛医科大学校学校長承認後から2020年12月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、年齢、性別、既往歴、飲酒歴、喫煙歴、頸部放射線治療歴、原発巣部位、組織型、治療法、CT等画像検査情報、予後情報、音声機能、嚥下機能等

試料：摘出した組織等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

〒359-8513 埼玉県所沢市並木3-2

防衛医科大学校病院 耳鼻咽喉科 富藤 雅之

TEL：04-2995-1211（病院代表）